
福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

社会福祉法人公正会 のぞみ保育園

添付書類

- ①評価結果総括表
- ②評価結果についての講評
- ③評価結果
- ④保育観察
- ⑤利用者家族アンケート結果
- ⑥利用者家族アンケート結果(グラフ表示)

令和2年1月30日

公益社団法人 けいしん神奈川

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

事業所	社会福祉法人公正会 のぞみ保育園
報告書作成日	令和2年1月30日（評価に要した期間 約5か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

評価方法

<p>自己評価 （実施期間：1年9月1日 ～1年10月31日）</p>	<p>主任補佐が中心となり各クラス職員と自己評価を検討、話し合いの後、園長・主任が園として全体を集約した。</p>
<p>評価調査員による評価方法 （実施期間：1年12月10日、 12月12日）</p>	<p>評価調査員（2名）が現地視察、書類確認、面接ヒアリング調査（園長、主任、保育士、調理員）を行った。</p>
<p>利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：1年10月28日 ～11月8日）</p>	<p>①全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し。 ②各保護者より、園内設置の回収箱にて回収。</p>
<p>利用者本人調査方法 （実施日：1年12月10日、 12月12日）</p>	<p>①観察調査は、主に各クラス、散歩（公園）にて実施。</p>

評価結果についての講評

施設の特徴

社会福祉法人公正会 のぞみ保育園は、平成20年8月に開設し、横浜市認定「横浜保育室」を経て平成27年4月より認可保育所として認定されました。最寄りの相鉄いずみ野線、南万騎が原駅からは、徒歩1分の好位置にあり利便性の高い保育園です。周囲を住宅街にかこまれ、近くには市民の森や多くの公園など自然に恵まれ、静かな落ち着いた環境にあります。

園は5階建て鉄筋コンクリート造りの1階部分にあり、定員は30名、現在0歳6ヶ月から2歳児の30名が在籍する乳児保育園で、延長保育・緊急時などに対応する一時保育を行っています。

理念に「一人一人の子どもを尊重し、保護者に信頼され、地域に愛される保育園を目指す」を掲げ、「心豊かに、人に優しく、健康な子ども」に向けて「徳育」「食育」「健康」を保育目標として実践しています。保育園は、小規模の園の特徴を生かし、乳児と職員の細やかな触れ合いと、職員同士のチームワークや、家庭的な雰囲気大切に、保育を行っています。

優れていると思われる点

1. 養護と教育の一体的な援助を大切に乳児保育を行っています。

保育所保育指針に沿って、「養護」と「教育」について、特に配慮しています。健康と安全を第一に、一人一人の生活リズムを大切に、生理的欲求を十分に満たすようにしています。月齢に合った玩具や絵本を用意し、手先を使うもの、考えながら遊べるものを取り入れ、自分でしようとする気持ちを大切にして、その子に合った援助の仕方考え保育を行っています。

乳児期の正しいハイハイをすることにより、手足の力がつくことを保護者に伝え、保育の中で実践しています。つかまり立ちや伝い歩きをする子どももいるので、事故や怪我のないよう常に配慮しながら、元気に遊べるよう毎日の保育を行っています。

保育士は子どもの名前を正しく呼ぶようにしています。0歳児～2歳児は言葉を習得するのに重要な基礎となる時期であることを踏まえ、保育士自身が正しい言葉遣いを心がけることを実践しています。

1～2歳児は自我の芽生えやイヤイヤ期が現れ始める時期であることを考慮し、成長の過程として保護者とともに暖かく受けとめるよう心がけています。

2. きめ細かな食育活動を通して健やかな成長を支援しています。

年間の食育計画を作成し食育に取り組んでいます。安全で信頼できる優良食材会社から食材を仕入れ、毎月の職員会議で喫食状態や改善したいことを話し合い、納入元の管理栄養士と密接に連絡を取り、要望を伝えたりアドバイスをもらったりしています。献立は、「ごっくん期」・「もぐもぐ期」・「カミカミ期」、「乳児食」など月齢や年齢に応じたメニューにより、自園調理し提供しています。

調理の仕方子どもたちに合うよう、献立が同じでも、カットの方法や大きさを変えたり、歯ごたえも硬すぎず・柔らかくなり過ぎずなど、おいしく食べられるよう配慮しています。2歳児には、その日の「食材のマグネット」をボードに貼り、何が入っているのか、興味が持てるよう工夫しています。

小さい子どもが持ちやすいスプーンやフォーク、料理がすくいやすい皿や小鉢などを選んでいきます。

調理室は、「給食衛生管理マニュアル」により細部にわたるチェック項目に沿って管理を徹底しています。「きゅうしょくだより」を毎月配布し子どもの人気メニューなども紹介しています。

3. 散歩や公園での外遊び、室内での遊びを工夫して取り組んでいます。

近くに市民の森や多くの公園があり、天候の良い日には積極的に散歩に出かけています。自然を求めた散策、公園での遊具や砂場での遊び、落ち葉やどんぐり拾いなど、季節に応じた活動を無理なく行うようにしています。室内では音楽に合わせて身体を動かす「リズム」を取り入れて、楽しく表現しています。歩く、走る、跳ぶなどを保育の中で実践し、体を動かすことを促しています。

ボール遊び、プラレール、手作りのボウリングなど、みんなで楽しめる遊びや、紐通しなど、集中して手先を使う遊びを取り入れています。牛乳パックで作成したテーブルや椅子でままごと遊びが充実するようにし、ミルク缶を使用した型抜きやパズルなどで手先を使い、楽しく遊べるよう工夫しています。

2歳児は年度後半くらいから、鬼ごっこや椅子取りゲームなどで、簡単なルールのある遊びを取り入れ、友達と遊ぶことの楽しさがわかる活動をしています。月2回、0歳児から2歳児と一緒に、外国人講師による英語での挨拶や歌、英語でのゲームや手遊びなどで楽しむ機会を持っています。

4. 保護者とのコミュニケーションを大切に、連携を密にしています。

懇談会、保育参加などで園の目標や理念を伝えしています。年度初めには、保護者参加の行事予定を知らせ、予定が組めるよう配慮しています。懇談会などに出られなかった保護者には、当日の様子を、便りなどで伝え、次回は出席してもらえよう誘っています。

保護者との「日々のコミュニケーション」が信頼関係につながるので、互いに忙しい時間でも会話を怠らないよう、大切な時間として捉えています。特に年齢の低い子どもたちなので、朝の受け入れ時は、子どもの健康状態をしっかり把握し、他の職員にも伝達を怠らないようにしています。

保育中の写真を定期的に撮り、日常の姿や行事の時の様子を知らせるようにしています。どこに散歩に行っ、こんなことをして過ごした、などその日の様子を迎え時にしっかり伝え、園での様子を知ってもらっています。「保育参加」では、保護者も一緒に保育に参加し給食まで過ごし、日頃子どもたちが、どのように過ごしているかを体験してもらい、より保育園に親しんでもらうようにしています。

工夫・改善が必要と思われる点

1. 地域との交流・連携の工夫が望まれます。

色々な場面を通じ、0歳児から2歳児までの乳児保育園を、地域に積極的に情報発信することが必要です。また施設の保有する資源や専門性を、地域の子育て家庭の相談や中高校生の職場体験などを、無理のない範囲で、支援する方向で検討されることが望まれます。

2. 保育園の中長期を見通した人材の確保・育成が望まれます。

保育の質の確保や運営の継続性を守るため、必要な人材の確保・育成は必須といえます。困難な社会環境にあることから、法人・保育園が一体となって展開することが大切と考えられます。中長期的な視点で着実に展開し、後継の育成なども含め安定的な保育活動につなげることが望まれます。

横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野）

評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類	評価結果	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に「一人一人の子ども尊重し、保護者に信頼され、地域に愛される保育園を目指す」を掲げています。保育方針は「心豊かに、人に優しく、健康な子どもを育成する」とし、保育目標に「徳育」「食育」「健康」を取り上げ、年度末、年度初めの職員会議で、全職員で確認し合っています。 理念・方針を入園のしおり（重要事項説明書）に記載して、3月に行う入園・進級時の説明会で保護者に説明し、質問に答えるようにしています。 理念・方針に関しては、毎年基本は変わらないが、時代背景や風潮に融合しているのかを園長、主任で検討し会議で全職員に周知しています。 ・全体的な計画を基本として、月間指導計画を作成し日々の保育に反映しています。計画は、園長、主任が主となって作成し、他の職員の意見も反映させるようにしています。月間指導計画を作成する際は、基本方針を念頭に作成することになっています。 0歳児～2歳児の保育を行う保育園として、核家族家庭が多いことを考慮し、定員に空きがある時は保護者の通院など緊急要件に対応した一時保育を行い、要望があれば相談に応じるようにしています。 保護者には、新年度開始前に次年度の保育についての説明会を行い、改定した内容について説明し、質問に応じるようにしています。 ・1～2歳児は自我の芽生えやイヤイヤ期が現れ始める時期であることを考慮し、成長の過程として保護者とともに暖かく受けとめるよう心がけています。年齢、月齢が低いながらもその子なりの意思を理解するよう向き合っています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の受け入れ時に視診を行い、子どもの様子をしっかりと把握し他の職員にも伝達を怠らないようにしています。体温が高めの場合は、体調の変化に注意して、検温を行っています。 病歴は健康台帳や保護者との面談で把握するようにし、どのような状況になったら保護者に連絡するかを決めています。必要に応じて個人面談を行っています。 ・慣らし保育は子どもの様子や体調を考慮したうえで保護者の就労開始日に合わせるなど配慮しています。担当制は採用していないが、各クラス（年齢別）の担当がそれぞれの役割を持って保育にあたっています。 子どもによっては自分のタオルにこだわり、それがないと不安定になる場合が見受けられることがあるので、子どもと一緒に預かりながら遊びに誘い、時間がたつと気にしなくなるのを見守るようにしています。 新入園児に集中しすぎないよう担当の役割を明確にし、在園児にもしっかり目を向けるようにしています。 ・月間指導計画は毎月各クラスの担当が話し合い作成しています。計画内容につ
---------------------------	---	---

		<p>いて、園長、主任がアドバイスや指導を随時行っています。</p> <p>トイレトレーニングなど、保護者から開始の要望がある時は意向を尊重し、個別指導計画に組み入れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針に沿って、「養護」と「教育」について特に配慮しています。 <p>月齢に合った玩具、絵本を用意し、手先を使うもの、考えながら遊べるものを取り入れています。子どもにとってより良い空間で心地よく過ごせるよう心がけています。</p> <p>正しいハイハイをすることにより、手足の力がつくことを保護者に伝え、保育の中で実践しています。つまり立ちや伝い歩きをする子どももいるので、事故や怪我のないよう常に配慮しながら、元気に遊べるように毎日の保育を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分でやりたいときはその気持ちを大切にし、時間の限り付き添い、さりげなく援助するなどしています。まだ言葉がうまく話せず、友達との関わり方が上手にできないこともよくあり、その時は保育士が代弁して関り方を援助しています。 <p>身体を動かす遊びを取り入れ、年齢によっては簡単なルールのある遊びで社会性を育む基礎となるよう考えています。</p> <p>週明け（休み明け）は疲れもあるので、無理をせず近くの公園で遊んだりお部屋でゆったり過ごしたりするようにしています。</p>
--	--	--

<p>I-3 快適な施設環境の確保</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備担当者を決めて、定期的にチェックを行っています。エアコンの温度に注意し、一日に何度か窓を開け、午睡後には換気をするようにしています。空気清浄機を使用し、インフルエンザの対策をしています。 <p>清掃のマニュアルがあり、保育室の清掃は掃除機をかけ消毒液で床拭きを行い、トイレは消毒液で便器、床拭きを行っています。エアコン清掃は2週間に1度、フィルターと吹き出し口の清掃を行っています。</p> <p>調理室は「給食衛生管理マニュアル」に沿って細部にわたりチェック項目があり管理を徹底しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏など、汗をかいたときには随時シャワーを使うなど、快適に過ごせるようにしています。シャワーは防水カーテンで仕切られています。1日1度、シャワー槽の清掃、消毒を行っています。 ・朝、夕の時間帯は合同保育で異年齢交流の場となっています。大きい子に刺激を受けたり、小さい子をかわいがる姿が見られています。9：30からは各年齢のクラスに分かれ、それぞれのクラスでの活動を行っています。 <p>保育室は、食事や午睡をする場所と遊びのスペースを分け、体操などは各クラスの広いスペースを使用して、のびのびと行えるよう工夫しています。</p>
------------------------------	-----------------	---

<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画を作成することで個々の子どもの状況がよくわかり、保育士も対応がしやすくなっています。他クラスの担任も会議などで情報共有することができ、園全体で見守ることができています。 <p>トイレトレーニングは個々に進めるので、随時個別指導計画を見直し、保護者</p>
--------------------------------------	-----------------	--

		<p>と話し合い、納得の上で行うようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園時に児童票、健康台帳を提出してもらい、家庭の状況や健康状態を把握しています。子どもの家庭状況の書類や発達の記録は、施錠できるロッカーで厳重に管理しています。職員は必要に応じて園長に許可を得てロッカーを解錠し、子どもの記録を参照しながらクラス内の話し合いを行い、共有できるようにしています。
--	--	---

<p>I—5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する子どもが在籍している時は、担任と園長、保護者で、どのように接するか話し合いを持っています。横浜市西部地域療育センターの研修を受講したり、臨床心理士に来園いただき様子を見てもらい、接し方などについて指導を受けたりしています。 ・障害児保育については「問題のある子どもについての対応」の研修を受講している職員もあり、その子どもに適した対応ができるよう学習しています。園内はバリアフリーであり、オストメイト対応のトイレを設置しています。職員の人数が限られていることから、積極的に障害児を受け入れる体制が、現在のところ整っていない状況ではあるが、過去にグレーゾーンの子どもの入所したケースでは、できる限り関係各所と連絡を取り合い対応しています。 ・虐待防止のため朝の視診や着替えの時などに気をつけて観察するようにしています。どのような場合に関係機関へ通告するか、会議で確認しています。少し心配な保護者には努めて明るく声をかけるようにして、話しやすい雰囲気を作っています。 ・アレルギー疾患のある子どものテーブルは他の子どもと別のテーブルにしており、食事開始から最後まで同じ保育士が付き添うようにしています。アレルギー食については、各クラスのホワイトボードに除去食の内容と名前を記載し、調理員と保育士で確認し合っています。調理員と各クラスの保育士との連絡を密にし、調理室から運ぶ際は口頭で確認し合い、各クラスの職員全員に伝達し、別トレイ、別ワゴンで運ぶようにしています。 ・英語の対応が困難な方が多かったので、外国籍の保護者とはグーグル翻訳を利用しコミュニケーションの構築に努めるようにしています。意思疎通を図るため、こまめに挨拶や声掛けをするなど、暖かく接することで関係性を深めていくようにしています。
---	-----------------	--

<p>I—6 苦情解決体制</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で、法人の苦情解決委員会についての説明を行っています。懇談会の席上でも苦情解決委員会について話をし、職員に直接言いにくいことは第三者委員の方に直接電話をしてもよいことの案内をしています。 ・転んで擦り傷ができてしまった時も、迎える時に伝え忘れのないよう気をつけています。苦情につながるような怪我等ないよう十分気をつけています。 ・苦情解決担当者は主任保育士、苦情解決責任者は園長です。責任者との話し合いで解決できなかった場合、公正会苦情解決事務局に持っていき、調整委員が
--------------------------	-----------------	---

		対応します。必要に応じて法人理事長も話し合いに応じます。事務局では法人理事、第三者委員が対応し解決に向けて尽力します。
--	--	---

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

<p>Ⅱ-1 保育内容 [遊び]</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度、各クラス担任にどんな玩具や絵本を取り入れたいか聞き取りをして、何を購入するか、または制作するか検討しています。子どもが自由に取り出して遊べるように、玩具や絵本は手の届く位置に置いています。デイリープログラムがあり自由に遊べる時間を設定し、保育士は日々時間配分を工夫し、朝・夕の自由遊びの時間に、どの玩具、遊具を使用するか、飽きないように考えながら提供しています。牛乳パックで作成したテーブルや椅子でままごと遊びが充実するように、園独自のミルク缶を使用した型抜きやパズルなどで手先を使ったり、楽しく遊べるよう工夫しています。破損などで危険のないように、玩具の点検をしています。 ・2歳児は年度後半くらいから、簡単なルールのある遊びを取り入れたり、友達と遊ぶことの楽しさがわかるような活動をしています。鬼ごっこやかごめかごめ、椅子取りゲームなどの遊びを通して、社会性を身に付けています。ボール遊び、プラレール、手作りのボウリングなど、みんなで楽しめる遊びや、紐通しなど、集中して手先を使う遊びも取り入れています。保育士が加わって遊びを先導することもあれば、子ども自身が自分で考えて作り上げたりする遊びもあり、あえて見守ることもあります。 ・地域の公園では、来ていた親子と一緒に遊ぶこともあります。保育園の入っているビルの上階が高齢者住宅なので、日頃から挨拶を交わしたりして触れ合いを大切にしています。近くに市民の森があるので落ち葉やどんぐりを拾ったり、四季を感じられるように活動しています。 ・リズム（リトミックのような、音楽に合わせて身体を動かすメソッド）を取り入れ、楽しく表現することを実践しています。毎月2回英国人による英語の歌やゲームを楽しんでいます。 ・まだ言葉が上手に出ない年齢ということもあり、すぐに手が出てしまったり、噛みついてしまうこともあるため特に気をつけて見守り、危険な時はすぐに止めるようにしています。朝、夕の合同保育で異年齢同士が関わりを持つことにより、年下の子を可愛がったり年上の子の真似をするなど、良い影響が出ています。 ・夏はプールや水遊び、秋は自然を求めて散策するなど、季節に応じた活動を無理なく行うようにしています。紫外線の強い時期は特に配慮し、健康状態に気をつけています。
----------------------	----------	--

<p>Ⅱ-1 保育内容 [生活]</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体格だったり、食の細い子どもだったり、さまざまな子どもがいるのでその子に合った進め方を実践しています。2歳児はその日の献立の食材のマグネットをボードに貼ったりして、何が入っているのか興味を持てるように工夫しています。授乳に関しては生後6ヶ月以上ということで、ある程度決まった時間に合わせ、規則正しい食生活の基礎となるように考えて行っています。 ・小さい子供が持ちやすいスプーンやフォーク、料理がすくいやすい皿や小鉢などを選んで提供しています。安全で信頼できる食材搬入元の会社から食材を納入しています。 ・月1回の職員会議で喫食状態や改善したいことを話し合い、食材搬入元の管理栄養士と密に連絡を取り、こちらの要望を伝えたりアドバイスをもらう関係ができています。 ・特に離乳食は子どもの発達や摂取状況を見て、保護者と相談し次の段階に進むようにしています。「給食だより」を毎月発行し子どもに人気のメニューなどを紹介しています。 ・眠りをスムーズにするオルゴールの音楽をかけて、適度な明るさを保ち、子ども
----------------------	----------	---

		<p>もの様子が見えるようにしています。保育士が優しく身体に触れ、安心して眠れるようにして、午睡チェック表に記録しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2歳児クラスは一人一人の排泄の様子を見て、個別にトイレトレーニングを行っています。家庭との連携が不可欠なので、保護者とよく話し合うようにしています。 ・長時間の保育になる子どもには、飽きないように玩具を変えたり、疲れが見られるときはゆったりと過ごせるように配慮しています。迎えの時に必ず子どもの様子を保護者に伝えるようにしています。
--	--	---

<p>II-2 健康管理・衛生管理 安全管理 [健康管理]</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルについて、年に1回見直し、確認しています。既往症のある子どもは、少しでもいつもと違う様子があれば保護者と連絡を取り合うようにしています。 2歳児クラスは6月から食後の歯みがきを安全に留意して行っています。 ・健康診断、歯科健診とも、春と秋の2回、嘱託医が来園し一人一人診察しています。健康診断、歯科健診の結果は一人一人の児童健康台帳に記録しています。 ・横浜市、旭区からの通達を把握し、園児に発症があった場合はマニュアルに従い、感染を最小限に留め、職員や家族が発症した場合の対応についても規程があります。
---	---	--

<p>II-2 健康管理・衛生管理 安全管理 [衛生管理]</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めには全員でマニュアルの確認をし、補足や修正があれば随時行っています。マニュアルに基づき、職員が清掃、消毒を行い、チェック表で確認しています。ペーパータオルや使い捨て手袋を用意してあり、必要に応じて使用しています。
---	---	---

<p>II-2 健康管理・衛生管理 安全管理 [安全管理]</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難・消火訓練は毎月実施しています。その他不審者対策訓練も年1回行い、防犯への意識を高めています。非常時・災害時の保護者への連絡は保護者の了解のもとメールにて行うことにしています。 ・怪我については十分に気をつけているが、転倒などにより起こってしまった場合は応急処置をし、怪我の経過等を保護者に伝えていきます。散歩先では途中の道も含め危険物がないかを必ず確認するようにしています。小さな怪我であっても全職員が把握できるよう連絡、連携を密にしています。 ・玄関は必ず施錠を徹底し保護者も退出の際は自動で施錠することを実行しています。万一、不審者が侵入したときの合言葉の確認、セキュリティの非常ボタンの場所の確認を随時行っています。さすまたを常備し、持ち方の訓練を年1回行っています。
---	---	---

<p>II-3 人権の尊重</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士は子どもの名前を正しく呼ぶようにしています。子どもに対し、正しく名前を呼ぶことや、呼び捨てをしないことを新入職員研修で伝え、遵守してい
-------------------	---	---

		<p>ます。</p> <p>0歳児～2歳児は言葉を習得するのに重要な基礎となる時期であることを踏まえ、保育士自身が正しい言葉遣いを心がけることを伝え実践しています。子どもにも人格があることを忘れず、注意することがあっても、できる限り、言葉遣いに気を付けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から2歳児までの保育園であることから、常に保育士の目が子供に向けられていなければならないため、目が届く環境を保っています。 ・個人情報に関する書類は、事務所の施錠できる書庫に保管し管理しています。入園説明会時に、個人情報の取り扱いについて保護者に説明しています。新入職員には、最初の研修でしっかりと浸透するように伝えています。 ・名簿は入園、生年月日順に作成しています。子どもに教材などの色を選んでもらう際には、性差なく好みに応じて選択できるように、選択肢をいくつか用意しています。男の子だから、女の子だから、という区別をしないように日頃から気をつけ、クラス内で確認するようにしています。
--	--	--

<p>II-4 保護者との交流・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会において、園のしおりを参照しながら保護者に説明しています。入園前に見学に来られた保護者にも園の方針、保育目標などを伝え、入園してからミスマッチが起こらないよう気をつけています。入園説明会や懇談会の席上でも意見がないか聞き、保護者の声に耳を傾けています。 ・特に年齢の低い子どもたちなので、朝の受け入れ時は子どもの健康状態などを聞き、迎え時にはその日の様子などを必ず伝えるようにしています。保護者とのコミュニケーションが信頼関係に繋がるので、互いに忙しい時間でも怠らないように大切な時間として捉えています。 <p>個別面談は保育者側で必要と感じた時に、また保護者から要望があったときは必ず応じるよう努めています。年に一度「保育参加」として、保護者も一緒に保育に参加し給食まで過ごす行事を実施し、日頃子どもたちがどのように過ごしているかを体験してもらい、より保育園に親んでもらうようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談等は事務所で言い、他の保護者に聞かれることがないように配慮しています。内容により、担任のほか主任保育士や園長、調理担当者が対応するなどして、相談者が少しでも安心し納得して帰ることができるよう努めています。相談内容は担任保育士と園長、主任で共有し、卒園までフォローできる体制を整えています。 ・月1回園だより、給食だよりを発行しています。懇談会、保育参加等でも園の目標や方針を伝えています。保育中の写真を定期的に撮り、日常の姿や行事の時の様子を知らせるようにしています。どこに散歩に行っこんなことをして過ごしたなどその日の様子を迎え時に保護者に伝え、園での様子を知ってもらうようにしています。 ・年度初めに保護者参加の行事予定を知らせ、予定が組めるように配慮しています。保育参加や参観は、保護者が来ていない子どもの気持ちに配慮するという点で、日時をあらかじめ設定して行っています。懇談会などに出られなかった保護者には、当日の様子を便りなどで伝え、次回は出席してもらえるよう誘っています。園側の設定した保育参加以外に要望があれば、都合の良い日時を設
-------------------------------	-----------------	---

		<p>定しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保護者会やそれに相当する組織はないが、保護者とは常に信頼関係を築いていくよう積極的に話をするなどコミュニケーションをとることをしっかりと行うようにしています。
--	--	--

評価領域Ⅲ 地域支援機能

Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供	B	<ul style="list-style-type: none">・一時保育利用の保護者に話を聞き、今後預けたい時間や時期、要望などを把握して、応えられるように人員配置などを工夫しています。 <p>旭区のエリアでの活動を通じ、感染症等の情報を共有し地域の園医との勉強会に参加しています。</p> <p>近隣の保育園との連携は取れており、不審者情報や沿線の運行状況などを共有しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・住宅街のため園庭が大勢で使用できず、近隣の公園などで地域交流を図っています。 <p>一時保育について、定員、時間帯など、次年度はどのように行っていくか、年度末に園長、主任、主任補佐で確認し合い全職員に周知するようにしています。</p> <p>定員に空きがある時は一時保育を行っています。一時保育で保護者が園の保育や対応を気に入り、入園を決めた例があります。</p>
-----------------------------------	----------	---

Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能	B	<ul style="list-style-type: none">・近隣の公園での交流に努め、積極的に地域の親子に挨拶をしたり、声をかけるなどしてアピールしています。 <p>秋に行う親子交流会（運動会）について、玄関前や近くの郵便局の掲示板に案内を貼付させてもらい、地域の親子のみなさんの参加を呼びかけています。参加した方の子どもが、後に入園した例があります。</p> <ul style="list-style-type: none">・横浜市の公私立園長会、私立園長会の会議等に出席し、横浜市のイベントや様々な取り組み（虐待防止や、臨床心理士の派遣など）を園に持ち帰り、全職員に情報共有するようにしています。 <p>旭区地域子育て拠点「ひなたぼっこ」に年に1～2回保育士を派遣し、親子と遊んだり、育児相談に応じたりする機会を持っています。主な相談内容としては子どもの食事についてや、就寝時間が遅いことなどがあります。どのような対応をしたのか、フィードバックしてさらに良い対応ができるよう努めています。</p>
-----------------------------	----------	---

評価領域Ⅳ 開かれた運営

Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	B	<ul style="list-style-type: none">・散歩で挨拶をしたり公園で一緒に遊ぶことで少しでもつながりを持てるように取り組んでいます。横浜市旭公会堂で毎年行われる「旭区保育園ひろば」では、園の遊具（マットなど）の貸し出しにも応じています。 <p>年に1～2回、最も多く利用する公園の清掃を職員が交代で行うようにして、地域に少しでも貢献できるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none">・近くの保育園にお誕生日会に呼んでもらい参加し交流しています。卒園児が在籍しているので、在園当時に世話になった保育士を見つけて喜んでくれています。
------------------------------------	----------	---

IV-2 保育所における福祉サービスに関する情報提供	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市保育園案内のサイト「働くママ応援し隊」に登録しています。ホームページにも園の情報を掲載し、アピールポイントやお知らせ等わかりやすさ、見やすさを考慮して制作しています。旭区子ども家庭支援課にパンフレットを置いて、来庁者が自由に手に取れるようにしています。 ・保育園の見学は予約をしてもらい、一人一人に十分な説明ができるように設定しています。次年度の旭区の入園申込申請に合わせ、土曜日の見学会を開催し、両親とも見学しやすい日程を複数回設定しています。
----------------------------	---	--

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2回ほど学生のボランティア受け入れ経験あり、その際は宿題で乳幼児の生活を観察するというもので、アドバイスなどを行っています。 年齢、月齢的に人見知りをすることも多く、積極的にボランティアを受け入れることはしていない状況です。 ・実習生は各学校、養成所からの依頼により受け入れ、2週間の日程で各年齢での保育を体験できるようスケジュールを組み、指導担当者を決めて実施しています。 毎日の実習のポイントを共有し、質問に答えたり1日の振り返りをしたりする時間を取り、充実した期間になるよう配慮しています。
---------------------	---	--

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、職員一人一人の自己の年齢や経験を生かせるクラス編成を組むようにし、ベテランと若手が互いの良いところを認め合い、刺激し合いながら成長できるよう促しています。OJT研修を行い、日々の保育の中で、客観的に自己を見つめ直し先輩の意見を受け入れ、さらにステップアップできる仕組みを構築しています。今後は自己評価の際に、個々の目標についても話し合えるようにしていきたいと考えています。各クラスでテーマを設定する園内研修を実施し、知識の共有を図り、ともに学習することの意義を大切にしています。 ・園内研修は各クラスでテーマを設定して発表し、全職員の意見交換の場として有意義な時間を持っています。外部研修を受講した職員は内容をまとめ自己の考察を添え、会議の場で発表することにしています。それにより、他の職員にも刺激を与え、新たな学習意欲や保育に対する認識を見直したりするきっかけになっています。 実技研修については保育の中で実践し、発表しています。 ・非常勤職員は会議には出席しないので、会議後には必ずクラスの職員が伝達を行い、内容、情報の共有を行っています。主任保育士が非常勤職員への指導、助言を行い、必要な情報を伝えるようにしています。
-------------	---	--

V-2 職員の技術の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の振り返りは、毎日の記録として行っています。園長、主任は必要に応じて助言したり、保育の中に入っ的確なアドバイスができるようにしています。毎日の振り返りを基に、年度末の自己評価が正しく行えるように指導しています。
--------------	---	--

		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の原点としては保育所保育指針であり、そこから園の「全体的な計画」へと繋がり、日々の保育へと繋げています。自己評価もそれらを踏まえて行うことを実践し、意識しながら行うようにしています。 ・年度末に個人、クラス、保育園全体の自己評価についての年度末会議を行っています。事前に個人とクラスの自己評価を作成し、会議の場で発表し、意見交換を行い、言いにくいことでもあえて出し合い、次年度の保育に繋がるよう話し合っています。 <p>課題が出た場合、どう解決していくかを納得のいくまで意見交換し、それらをまとめたものを園の自己評価として、保護者や見学者が自由に見られるようにしています。</p>
--	--	--

V-3 職員のモチベーションの維持	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の処遇改善加算Ⅱにより、経験年数や能力、職場への貢献度を考慮した職名と手当を支給する仕組みがあり、それによりモチベーションが上がり、更なるスキルアップの向上を目指しています。まだ、横浜市の処遇改善加算Ⅱの支給対象者以外の職員であっても先輩に少しでも近づき、自分も頑張ろうという励みにしています。 ・主任、主任補佐がそれぞれの役割を把握し、冷静な判断のもと指示を行っています。年に一度、職員にアンケートを取ったうえで個別面談し、園に対する率直な意見を聞いたり、今後の目標や勤務継続の意思等を聞く機会を設けています。
--------------------------	----------	---

評価領域VI 経営管理

VI-1 経営における社会的責任	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の就業規則に則り法令を遵守し運営を行っています。職員には入職時に研修として就業規則について話をしています。ニュース等で保育士や保育園での不適切行為が報じられると全職員に周知し、似たような行為がないか、誤解を招くような行為がないか、すぐに確認を行い、注意を促しています。 ・横浜市や法人の方針、基準などに基づいて適正に実施するよう努めています。経理関係については、法人の担当者が定期的にチェックを行っています。外部監査で、指摘や助言を受けた時は全職員に周知し、速やかに修正、改善を行い、次回指摘を受けることのないよう十分に気をつけています。 ・ゴミはしっかり分別し、少量化に努めています。事業ゴミとして処理していますが、職員の昼食時に出たゴミを持ち帰るなど、少しでも減らすよう努力しています。節電に努め、こまめにスイッチを切ることを実行し、室内の温度に気をつけるようにしています。
-------------------------	----------	--

<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めには必ず保育理念、目標を各自が確認し、会議で再確認しています。 ・重要事項説明書については主任、主任補佐と話し合いを持ち、毎年見直しを行い、状況に合った内容にしていくことを意識しています。保護者には新年度開始前に入園、進級説明会を行い、重要な変更事項についても納得していただけるよう丁寧な説明を心がけています。その後も懇談会などの機会に意見を求め、話し合うようにしています。調理員など異なる部門の職員の意見も聞き、必要な事柄を説明し、そこで課題が見つければ確認、検討しています。重要な決定が求められるときは、法人の他の事業所の施設長、幹部職員の意見を聞いて慎重に進めるようにしています。 ・主任が定期的にクラスに入って問題提起し、クラスの保育がマンネリ化しないようにしています。職員の「気づき」を大切に、主任から指導されたことを次は自分が後輩に伝えていく、ということを繰り返して取り組んでいます。職員の経験年数、意欲、仕事ぶりを見た上で主任補佐として任命し、主任や先輩の業務を見ながら覚えていくようにしており、定期的なミーティングできめ細かく指導する体制を整えています。
--------------------------------	----------	--

<p>VI-3 効率的な運営</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長会などで得た情報で、有益なものは園内で共有できるようにしています。新聞、インターネットの情報をチェックし、保育に関する情報を見て、自園に今何が必要なのか考え、良いと思ったことは実行しています。改善が必要な事項があれば、職員や法人の意見を聞き、より良くするために改善を進めています。 ・前年の運営状況を振り返って、それを基に事業計画を立てています。前年との違いを感じられるように意識し、保育理念はそのままに、新しさも感じさせる計画を作っています。幹部職員の高齢化などを考慮し、早い段階で後継者を育成する準備を行ったり、法人理事、評議員の意見を聞き、地域で求められている保育園作りをしています。
--------------------	----------	---

保育観察

保育所名	のぞみ保育園	調査日	令和1/12/10 12/12	調査機関	(公社)けいしん神奈川
------	--------	-----	--------------------	------	-------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子
0歳児 ひよこ組	10日 10:00 11:30 15:30	朝のおやつ時間を観察します。自分でコップをもってミルクを飲んでいる子や保育士が付き添って飲んでいる子がいます。飲んだ後は自分でエプロンをたたむ練習をしています。おやつ後は近くの公園に遊びに行っています。散歩から帰ってくると、保育士が絵本をもってきて読んでいます。楽しそうにうなづきながら聞いています。保育士の電子ピアノに合わせて手を叩いています。名前を呼ばれると元気に手を挙げています。昼食を観察します。ごはんとさばのごまみそ焼、酢の物とすまし汁です。一人でスプーンを使って食べる子もいます。保育士が付き添って食べる子もいます。月齢による差が大きいです。
1歳児 うさぎ組	10日 10:00 11:30 15:30	朝のおやつ時間を観察します。エプロンをつけて、手を拭いておやつの牛乳を飲んでいきます。アレルギーの子はお茶を飲んでいきます。「いただきます」の声かけの後、両手でコップをつかんで上手に飲んでいきます。おやつ後は散歩に出掛けます。自分で靴を履いて出かける子どもがいます。昼食を観察します。一人でスプーンを使って食べています。アレルギー対応の子は、別のテーブルで他の子どもの食材が混ざらないように工夫しています。調査員が帰り際に、「バイバイ」をしている子もいます。電子ピアノに合わせて手を上げたり、保育士の動作に合わせて楽しそうに体を動かしています。
2歳児 ペンギン組	10日 10:00 11:30 15:30	朝のおやつ時間を観察します。元気に牛乳を飲んでいきます。「おはよう」と挨拶をしてくれます。飲み終わると「ごちそうさま」と全員で挨拶しています。おやつ後は近くの公園に行きます。その前にトイレに行って、手を洗っています。ズボンを脱いだり、はいたりすることはできるようです。トイレの順番を待っている間は床に座ったり、元気に飛び跳ねています。トイレトレーニングは半分終了しています。ジャンパーと帽子を自分でかぶって元気よく出掛けています。昼食を観察します。スプーンで一人で上手に食べています。食べた後は歯を磨いて、パジャマに着替えてお昼寝です。
クラス (年齢)	時間帯	散歩と公園での外遊び
0歳児	12日 10:00	散歩に出かける準備をしています。靴を保育士と一緒に履いています。電車ごっこで、前の子の服をつまんで1列になります。自分で歩いていく子や、ベビーカーに乗っていく子もいます。公園には15分ぐらい歩きます。公園では落ち葉を拾ったり、歩いて周囲を探索したり、砂場で保育士と一緒に楽しそうに遊んでいます。
1歳児 2歳児 合同	12日 10:00	散歩に出かける準備をしています。1歳児は靴を自分で履いたり、保育士と一緒に履いている子もいます。電車ごっこで、前の子の服をつまんで、1列になります。2歳児は自分で靴を履いています。保育士は確認をしています。電車ごっこで2歳児も1列になり前の子の服をつまんで1列になって、1歳児と一緒に手を結んで、さらに保育士が手をつないで、元気に歩き出します。保育士が車道側で、車が来ると止まって、子どもたちをガードしています。15分ぐらいで公園につくと、すでに近隣園の園児が砂場で遊んでいます。元気に挨拶をして、公園内の小山に登って遊んでいます。イチヨウの葉や木の実など探したり、集めています。自然と1歳児と2歳児と一緒に仲良く遊んでいます。保育士は集めイチヨウの葉っぱを持ち帰り、作品を子どもたちと一緒に作ります。砂場で遊んでいる近隣園の園児と一緒に遊ぶ子もいます。帰り際に「ありがとうございました」「バイバイ」と言って挨拶しています。
備考		園内は安全と健康のため子どもたちは裸足で生活しています。 園庭が狭く、近くに公園が多く点在し、子どもたちの遊び場になっています。 散歩マップが掲示されており、危険個所などの注意事項が記入されています。 各クラスの部屋は広く、午睡と食事の場所は区別されています。 2歳児の部屋には献立を、絵で表示して、食材に興味も持つよう工夫しています。 朝夕は1歳児の部屋で合同保育をしています。 園内には、子どもたちと保育士が作ったクリスマスツリーが飾られています。

■結果の特徴

のぞみ保育園

アンケート回収率 86.2%

送付数: 29

回答数: 25

保育園に対する満足度は「満足」、「どちらかといえば満足」を加えると100%となっており、満足度は高いです。

園の保育目標・保育方針については、80%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の84%がその目標に賛同しています。

満足度の高い項目

日常の保育内容について「生活」では、「お子さんが給食を楽しんでいる」、「給食の献立内容」、「基本的生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組み」、「遊び」では「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動」、「子どもが戸外遊びを十分している」、「遊びを通して友だちや保育者との関わりが十分もてている」など、園と保護者との連携では「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」、職員の対応については「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいる」、など満足度が高いです。

満足度が低い項目

「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされている」などについては、満足度が低いです。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらかといえばいい	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(人)	4	16	4	1	0	0	25
(%)	16.0%	64.0%	16.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらかといえばいい	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	17	4	0	0	0	4	25
	68.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.0%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	14	6	0	0	4	1	25
	56.0%	24.0%	0.0%	0.0%	16.0%	4.0%	100.0%
その他							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	14	9	0	1	1	0	25
	56.0%	36.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	100.0%
その他							
園の目標や方針についての説明については	15	10	0	0	0	0	25
	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	14	7	1	0	3	0	25
	56.0%	28.0%	4.0%	0.0%	12.0%	0.0%	100.0%
その他							
保育園での1日の過ごし方についての説明には	18	6	1	0	0	0	25
	72.0%	24.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	20	4	0	1	0	0	25
	80.0%	16.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	18	5	2	0	0	0	25
	72.0%	20.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	13	7	1	0	4	0	25
	52.0%	28.0%	4.0%	0.0%	16.0%	0.0%	100.0%
	その他						

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	24	1	0	0	0	0	25
	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	23	2	0	0	0	0	25
	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	19	3	0	0	3	0	25
	76.0%	12.0%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%	100.0%
	その他						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	24	1	0	0	0	0	25
	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	23	2	0	0	0	0	25
	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	18	6	0	0	1	0	25
	72.0%	24.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
	その他						

「生活」について	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	23	1	0	0	1	0	25
	92.0%	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	24	1	0	0	0	0	25
	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						

基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	22	2	0	0	1	0	25
	88.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
その他							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	20	3	2	0	0	0	25
	80.0%	12.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	15	6	0	0	4	0	25
	60.0%	24.0%	0.0%	0.0%	16.0%	0.0%	100.0%
その他							
お子さんの体調への気配りについては	18	6	0	1	0	0	25
	72.0%	24.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	19	4	0	0	2	0	25
	76.0%	16.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	100.0%
その他							

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	16	7	0	0	2	0	25
	64.0%	28.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	100.0%
その他							
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	19	6	0	0	0	0	25
	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	18	7	0	0	0	0	25
	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	17	5	1	1	1	0	25
	68.0%	20.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	100.0%
その他							

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	9	11	0	1	4	0	25
	36.0%	44.0%	0.0%	4.0%	16.0%	0.0%	100.0%
その他							
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	18	7	0	0	0	0	25
	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							

園の行事の開催日や時間帯への配慮については	19	6	0	0	0	0	25
	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	22	3	0	0	0	0	25
	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	18	7	0	0	0	0	25
	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
保護者からの相談事への対応には	19	6	0	0	0	0	25
	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	16	7	0	0	2	0	25
	64.0%	28.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	100.0%
	その他						

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	21	4	0	0	0	0	25
	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	23	2	0	0	0	0	25
	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	14	5	0	0	4	2	25
	56.0%	20.0%	0.0%	0.0%	16.0%	8.0%	100.0%
	その他						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	22	2	1	0	0	0	25
	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
意見や要望への対応については	18	6	0	0	0	1	25
	72.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	100.0%
	その他						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	21	4	0	0	0		25
	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%		100.0%

利用者アンケート集計結果（グラフ表示）

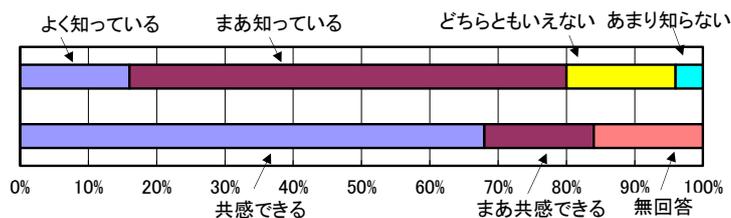
調査対象保育園： のぞみ保育園

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

見学の受け入れ方について

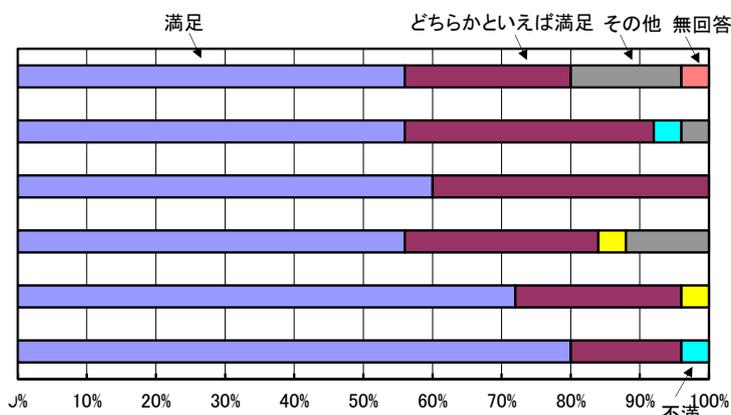
入園前の見学や説明など、園からの情報提供について

園の目標や方針についての説明に

入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを

保育園での1日の過ごし方についての説明には

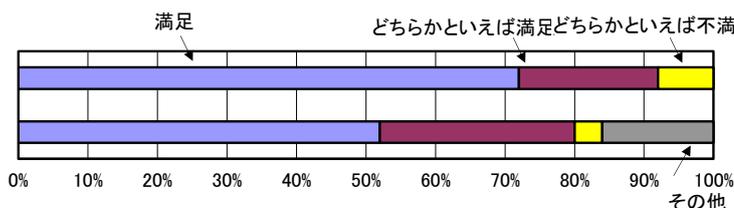
費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）



問3 保育や行事の年間計画について

年間の保育や行事についての説明には

年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては



問4 日常の保育内容について

「遊び」について

クラスの活動や遊びについては

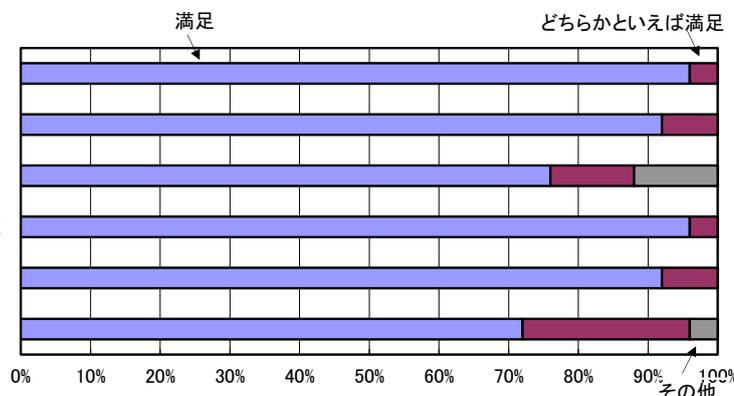
子どもが戸外遊びを十分しているかについては

園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）

自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については

遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては

遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては



「生活」について

給食の献立内容については

お子さんが給食を楽しんでいるかについては

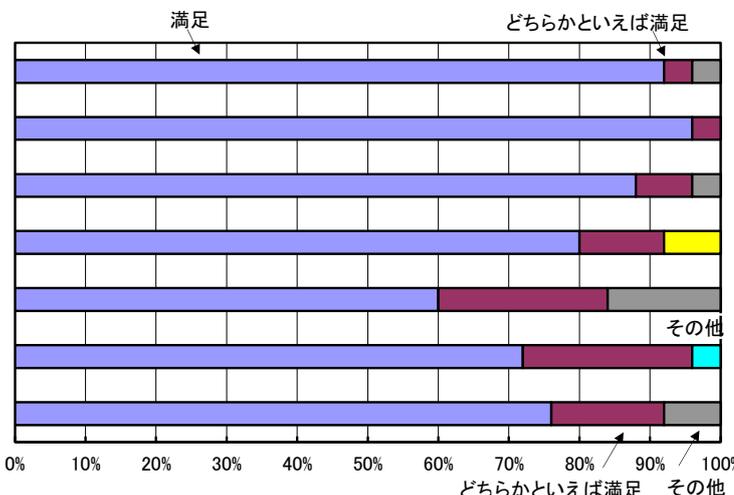
基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては

昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては

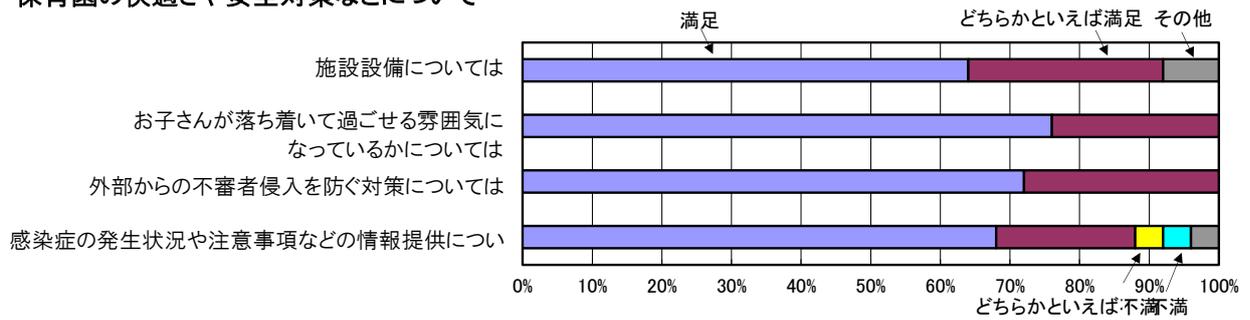
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては

お子さんの体調への気配りについては

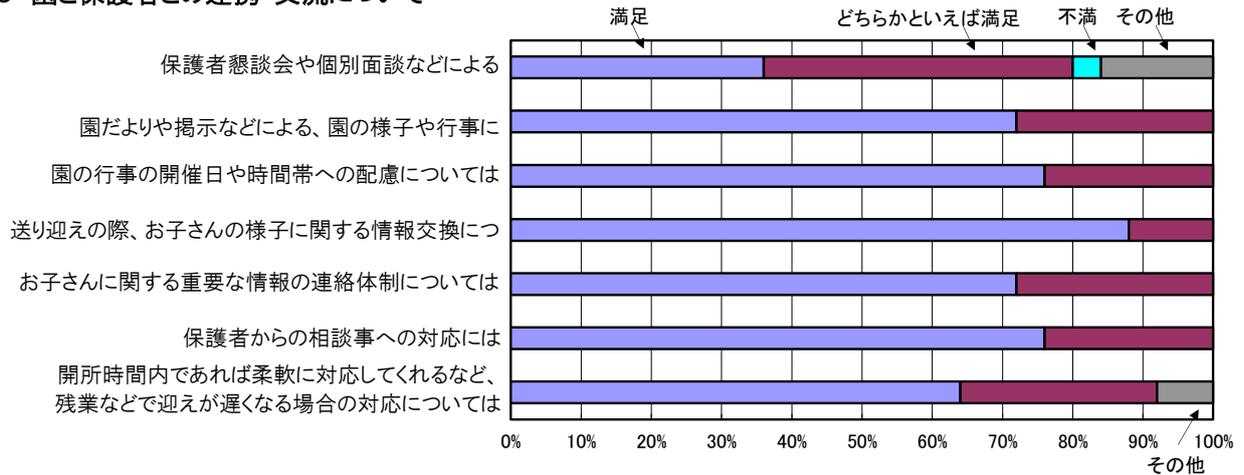
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には



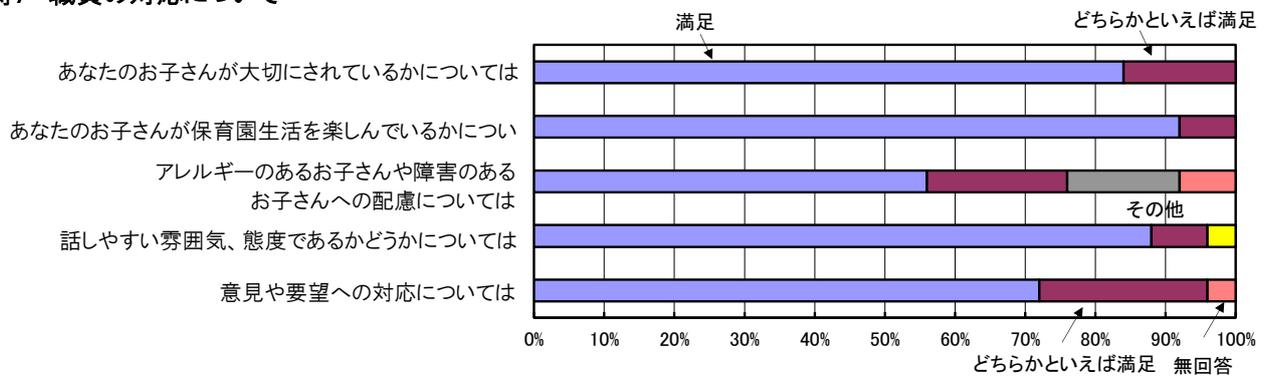
問5 保育園の快適さや安全対策などについて



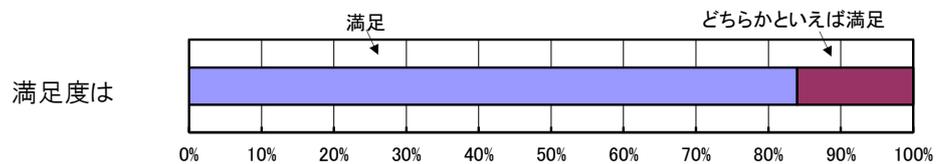
問6 園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しています



第三者評価を受審して

今回、認可保育園移行後、初めて第三者評価を受審させていただきました。

受審前の準備として、事業者プロフィールや自己評価票の作成をいたしました。改めてのぞみ保育園を客観的に見直す良い機会になりました。

0歳児から2歳児までの乳児保育園ということから、まだ小さな子どもたちを丁寧に暖かく保育すること、保護者の皆様に安心して預けていただくことを心がけて日々の業務を行ってきました。その点について、保護者の皆様から良い評価をしていただけたことはたいへん嬉しいことです。同時に今まで以上の信頼をいただくために、さらに努力が必要であると感じています。

課題となった点もあり、地域の育児支援や交流などがなかなか進まなかったということがあります。今後はより積極的に地域との繋がりを持てるように、いろいろな機会を作って実行していきたいと考えています。

人材育成にもさらに取り組んでいき、これまでやってきたOJT研修をさらに充実した内容にし、外部研修にも参加を促し、職員のスキル向上に努めたいと思います。

のぞみ保育園に今後何が必要なのか、何を変えていくのかをしっかりと見極め、地域に必要とされる保育園づくりをしていきたいと思っています。